

## 射水市新湊博物館

### 「奈呉の浦の祈り～海のまつり～」展

開催期間：平成27年7月10日（金）～9月13日（日）



#### 【企画展の目標】

- 平成27年10月に射水市を会場として開催される「第35回全国豊かな海づくり大会～富山大会～」に合わせ、地域と海との関わりや豊かな海の魅力について、「伝統行事・歴史・環境」の3つの視点から学ぶ機会とします。
- 海を畏れ、海に感謝してきた人々によって今なお伝えられる「海のまつり」を中心に、海と人々との関わりを紹介することで、地域と海との関係性を再発見する機会とします。
- 小学校への出前講座や「海のまつり」解説会等の関連事業を行う事により、慣れ親しんだ地域の環境や伝統行事が、古くから海と深い関わりを持っていることを学ぶ機会とします。

#### 展示会場の様子



射水市新湊博物館 外観



企画展会場 入口

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。



伝統行事コーナーでは、「放生津八幡宮の築山行事」（富山県指定無形民俗文化財）の実物を始めとした、射水市内の様々な「海のまつり」関連の資料を特別公開することによって、海と共に生きてきた人々が海を畏れ、海の恵みに感謝してきた祈りのかたちを紹介すると共に、地域と海との深い関係性を今と未来に伝える機会としています。



歴史コーナーでは、漁師を指す古語を地名としていた漁村が海の生命を尊重する仏教行事「放生会」ゆかりの地名に改められ、日本海海運の拠点となる港湾都市へと成長していった歴史を紹介すると共に、海の生命に感謝するために行われる「放生会」が今なお伝えられていることを紹介することによって、海の恵みへの感謝の念を捧げてきた先人の思いと歴史を学ぶ場としています。



環境コーナーでは、放生津湊の東に位置した旧放生津潟の変遷を、江戸時代の絵図や古記録・古写真によって紹介すると共に、潟周辺に生息する魚類・貝類に関する標本や絵画の展示を行い、海とその周辺の水辺が昔から多くの生命を育む場であったことを知る機会としています。



## 関連事業の様子

### ■ 市内小学校等へ出張講演

【開催日時】平成27年6月16日～11月7日（計11回）

【開催場所】射水市立小杉小学校ほか10団体

【参加者数】621名

【目標・内容】

- 射水市内で行われる「第35回全国豊かな海づくり大会富山大会」の開催に合わせ、射水市ならではの「海のまつり」について、小学校向け授業や地域の会合等において紹介することにより、自分たちの暮らす地域の歴史や文化が海によって育まれたことや、海からの恩恵を学ぶ機会として実施します。



市内小学校では6月から9月にかけて8校で実施し、企画展で紹介した地域ならではの様々な「海のまつり」に触れ、いずれも海への畏敬の念から生まれたことを紹介すると共に、各地域と海にまつわる昔話や逸話を分かり易く紹介し、海と密接に結びついた地域の歴史への理解を促しました。



市内各種団体を対象に、企画展で紹介した射水市内の指定無形民俗文化財4件について、その現状や歴史、信仰の姿を、近年の研究成果や新発見の史料紹介及び写真等を提示しながら紹介しました。4件に共通して、海への畏敬の念及び海がもたらす恩恵への感謝の祈りの心が存在することを紹介し、海が射水市の特徴ある伝統文化のゆりかごの役割を果たしてきたことを理解いただける機会としました。

## ■「放生津八幡宮の築山行事」現地解説会

【開催日時】平成27年10月2日（金） 13:00～13:30

【開催場所】放生津八幡宮（射水市八幡町2丁目2番27号）

【参加者数】100名

【目標・内容】

- 1年に1度、海から祖霊を招き祀ることが特徴とされる「放生津八幡宮の築山行事」（富山県指定無形民俗文化財）を実際に現地で見学解説することによって、幸いをもたらす海への畏敬の念を抱いた先人たちの信仰を参加者が深く理解することを目指しました。



企画展で特別公開した「放生津八幡宮祭の築山行事」が年に一度実際に行われる日に合わせ、射水市立八幡保育園園児19名を含む100名を対象とした現地解説会を行い、海が神仏の出現する場として大事にされていた歴史や行事の変遷、意義などについて、実際に行われる地域の祭りの様子を詳しく紹介することによって、今なお残る地域ならではの「海のまつり」から地域と海との繋がりや人々の思いなどを学ぶ機会としました。